

山岳遭難事故の防止

8月号
発行者 鈴木 健晃
0575-37-2004



※遭難を防ぎ、安全に山を楽しむために、次のことに注意しましょう。

1 知識、体力、経験に見合った山選び

登山者の体力、体調、登山経験、気象条件などに見合った山を選択し、登山コース、日程、十分な装備、食料などに配慮して、余裕のある安全な登山計画を立てましょう。

2 登山計画の作成、提出

登山計画を立てたら、登山者の氏名や連絡先、日程やコースなどを登山計画書にまとめて、家庭、クラブ、職場、登山口などの登山届ポスト、山を管轄する警察署などに提出しておきましょう。救助機関が遭難を認知した際、捜索、救助が迅速に行われる可能性が高まります。

3 冷静な状況判断と、慎重な行動を

登山予定日の数日前から現地の気象に注意し、悪天候の場合は無理に登山するのはやめましょう。道迷いを防ぐには、地図、コンパス、登山用GPSなどを活用して、常に自分の位置を確認するよう心がけましょう。

4 通信手段の確保

万一、遭難したときに地元の警察などに通報して助けを求められるよう、携帯電話やスマートフォンなどの通信手段を携行しましょう。予備のバッテリーも忘れずに持っていきましょう。

自転車盗難に注意してください！

多発注意報

関警察署管内自転車盗発生状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日	21件	内3件美濃市内
令和5年1月1日～令和5年6月30日	33件	内5件美濃市内

自転車を盗まれないための5つの対策



1 まずは鍵かけ！

「ちょっと拝借」感覚の犯人は、鍵をかけていない簡単に盗める自転車を狙います。

2 ツーロックで防御

盗もうとする者は、解除や破壊に手間取ることを嫌います。違う種類の鍵を2つかけましょう。

3 防犯対策で選ぶ

※駐輪場は自転車が多い分、物色する者も集まりやすい場所です。管理者がいる、防犯カメラがある、人目につくなど、できるだけ安全な駐輪場を選びましょう。

4 地球にロック

駐輪場のラックや柵など、地面（地球）に固定されているものと自転車を鍵でロックしましょう。

5 見られない保管方法

カバーをかける、車庫や玄関に入れるなど、人目につかない工夫により、盗もうとする気持ちを起こさせないことが大切です。